

第45回全国障害者技能競技大会

<114>ビルクリーニング競技 事前公表課題

いっぱんてき ちゅういじこう
一般的な注意事項

きょうつう
<共通>

- 1 課題は、課題1「カーペット床清掃」と課題2「弾性床清掃及び机上清掃」の
2課題です。又、競技は、課題1の「カーペット床清掃」をA・Bコート。課題2
の「弾性床清掃及び机上清掃」をC・Dコートでそれぞれ行ないます。
尚、課題1と課題2の間には休憩時間を設けます。

- 2 どちらの課題も、作業面積は、16 m² (4×4m) とし、幅木による区画とし、幅木
の上には、壁があるものとして作業を行ってください。

- 3 作業場所にある机は、移動させないでください。

- 4 2課題とも次の規定時間が定められています。

① 課題1 7分 で打ち切り ② 課題2 10分 で打ち切り

尚、両課題とも残り時間が少なくなったところでアナウンスします。

① 課題1 2分 ② 課題2 3分

又、規定時間を越えたところで打ち切りとします。打ち切りとなった競技者は

競技委員の指示に従ってください。

- 5 各課題とも作業開始の指示は競技委員が行ないます。競技者は、挙手または「は
じめます」と申告して、4コート(A・B・C・D)同時にスタートしてください。

競技が終了したら挙手または「終わりました」と申告してください。又、作業

ごとの入退出を行なう際には、会釈（軽く挨拶や礼）をしてください。

競技中は上記以外の声は出さないでください。

※ 始めと終わりの申告は、声を出すことが困難な場合は、挙手のみで構いません。

6 課題において椅子を机の上にあげる際は、安全に配慮した形で上にあげててください。

7 作業終了後、競技時間を発表します。競技時間の発表は、4コートの全員が

終了した段階で各コート順次発表しますので、早く作業を終了した

競技者は、スタートラインに戻り、残りの競技者が終了するまで、そのまま待機してください。

8 両競技で使用できる資機材は、支給されたもの以外は使用できません。

9 使用した資機材は、競技委員の指示に従って後片付けを行なってください。

10 競技の採点は、作業準備・作業動作（手順）・仕様誤り・作業態度・作業時間

の5面から審査し、加点方式により行います。

11 競技者は、本競技に適した服装をしてください。

＜課題1 カーペット床清掃＞

- 1 床の材質は、繊維系の床面とします。
- 2 作業は、掃除機によるカーペット床の除塵作業です。
- 3 床のごみは、「シュレッターで裁断した紙」とし、50ml程度をまいたものとします。

＜課題2 弾性床清掃及び机上清掃＞

- 1 床の材質は、塩化ビニール系の長尺シートの床面とします。
- 2 作業は、床面の除塵・拭き・ごみ処理及び机上拭き作業です。
- 3 本課題で使用する資機材・消耗品は、選手自ら事前準備する資機材類以外は作業用カートに載せてありますので、不足なものがないか点検し使用してください。
- 4 モップの柄は、長さが調節できるので、作業前に適切な長さに競技者自身で調節してください。
- 5 乾式モップ用のクロスは、競技者が作業前に乾式モップヘッドに取り付けてください。
- 6 クロスを装着した乾式モップヘッドは作業カート上部、モップの柄は作業カートの所定の位置にそれぞれ競技開始前にセットしてください。
- 7 床のごみは、「おがくず」とし、50ml程度をまいたものとします。

【資機材一覧】

1. 競技会場に準備されているもの

(1) 課題1

品名	寸法又は規格	数量
真空掃除機	ポット型 リンレイ RD エコ2型	1台
つくえ機	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1台
イス	パイプ式折りたたみ	1脚
ゴミ箱	角型	1個

(2) 課題2

品名	寸法又は規格	数量
作業用カート	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1台
作業表示板		1個
ワンタッチモップ柄	ワンタッチアルミ伸縮柄	1本
ラグ (モップ房)	260g 白色	1個
小型ぼうき	30cm幅用	1本
乾式モップヘッド	63cm	1個
文化ちりとり	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1個
タオル	無地 水拭き用 (青色) 1枚 無地 から拭き用 (白色) 1枚	2枚
ダスタークロス	69cm幅の不織布	1枚

ビニール袋 ^{ぶくろ}	ごみ箱用替袋 ^{ぼこようかえぶくろ}	1枚 ^{まい}
机 ^{つくえ}	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠 ^{ぎのうけんていしきざい じゆんきよ}	1台 ^{だい}
イス	パイプ式折りたたみ ^{しきお}	1脚 ^{きゃく}
ゴミ箱 ^{ぼこ}	角型 ^{かくがた}	1個 ^こ

2. 選手が持参するもの^{せんしゆ じさん}

品名 ^{ひんめい}	寸法又は規格 ^{すんぽうまた きかく}	数量 ^{すうりょう}
作業着(上・下) ^{さぎようぎ うえ した}		1着 ^{ちやく}
作業帽又は三角巾 ^{さぎようぼうまた さんかくきん}		1個 ^こ
作業靴 ^{さぎようぐつ}		1足 ^{そく}

*持参するものは上記のものに限るが、同一品目のものを予備として持参することは差し支えない。

課題1 カーペット床清掃 (作業時間: 7分)

作業仕様

作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	<ul style="list-style-type: none"> 作業に必要な資機材は、すでに会場に準備されている。 真空掃除機には、ウォンドと吸込口がセットしてある。 作業標示板は既に所定の位置に立ててある。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要な資機材及び数量は、資機材一覧を参照すること。 資機材が過不足無く準備されているか点検し、異常があれば申し出る。 	資機材の点検終了後、係員の指示に従い所定の位置に立つ。
競技開始の挨拶	競技委員の始めの合図で所定の位置に立ち、「はじめます」と挨拶を行い、競技を開始する。	片手を挙げ、一礼する。	作業開始を申告する。
作業準備	真空掃除機を保管場所から作業場所の近くへ移動し、コードを外し、プラグをコンセントに差し込み、始動点検を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 吸込口に手をあて、風量があるか点検する。 	
入室の挨拶	入口にて、室内に向かって入室の挨拶を行う。	「失礼します」と一礼して入室する。	
除塵作業 (真空掃除機)	<ol style="list-style-type: none"> 真空掃除機を使用し、外から入口を除塵し、入室する。 室内での作業手順は、カーペット床作業手順のとおり行う。 ゴミ箱は、持ち上げて除塵する。 前進しながら除塵する。 作業が終了したら掃除機を室内より出してプラグを抜く。 	<ul style="list-style-type: none"> 入口のごみを踏まないように広めに足場を確保する。 吸込口を床に強く押しつけない。 イスを手前に引き出し、机の下の除塵を行い、元に戻す。 掃除機本体は、手で持って移動する。 プラグを持って抜く。 	ごみは、シュレッターで裁断したものを50ml程度均等にまいてある。 掃除機のコードを持って抜かない。
点検	指差し又は目視点検を行う。	資機材の忘れ、ゴミの取り残しがないか点検する。	声を出さないこと。

<p>たいしつ あいさつ 退室の挨拶</p>	<p>でぐち しつない む 出口にて、室内に向かって たいしつ あいさつ おこな 退室の挨拶を行う。</p>	<p>しつれい とう 「失礼しました」等 いちれい たいしつ と一礼して退室す る。</p>	
<p>しきざい かたづ 資機材の片付け</p>	<p>しんくうそうじき 真空掃除機のコードを巻 しんくうそうじき ほかんぼしよ き、真空掃除機を保管場所 もど に戻す。</p>		
<p>しゅうりょう あいさつ 終了の挨拶</p>	<p>しよてい いち た 所定の位置に立ち、 しゅうりょう あいさつ おこな 終了の挨拶を行う。</p>	<p>おわりました とう 「終わりました」等 い しひょうじ おこな の意思表示を行 う。</p>	<p>さぎょうしゅうりょう 作業終了を しんこく 申告する。</p>

課題2 弾性床清掃及び机上清掃（作業時間：10分）

作業仕様1-1

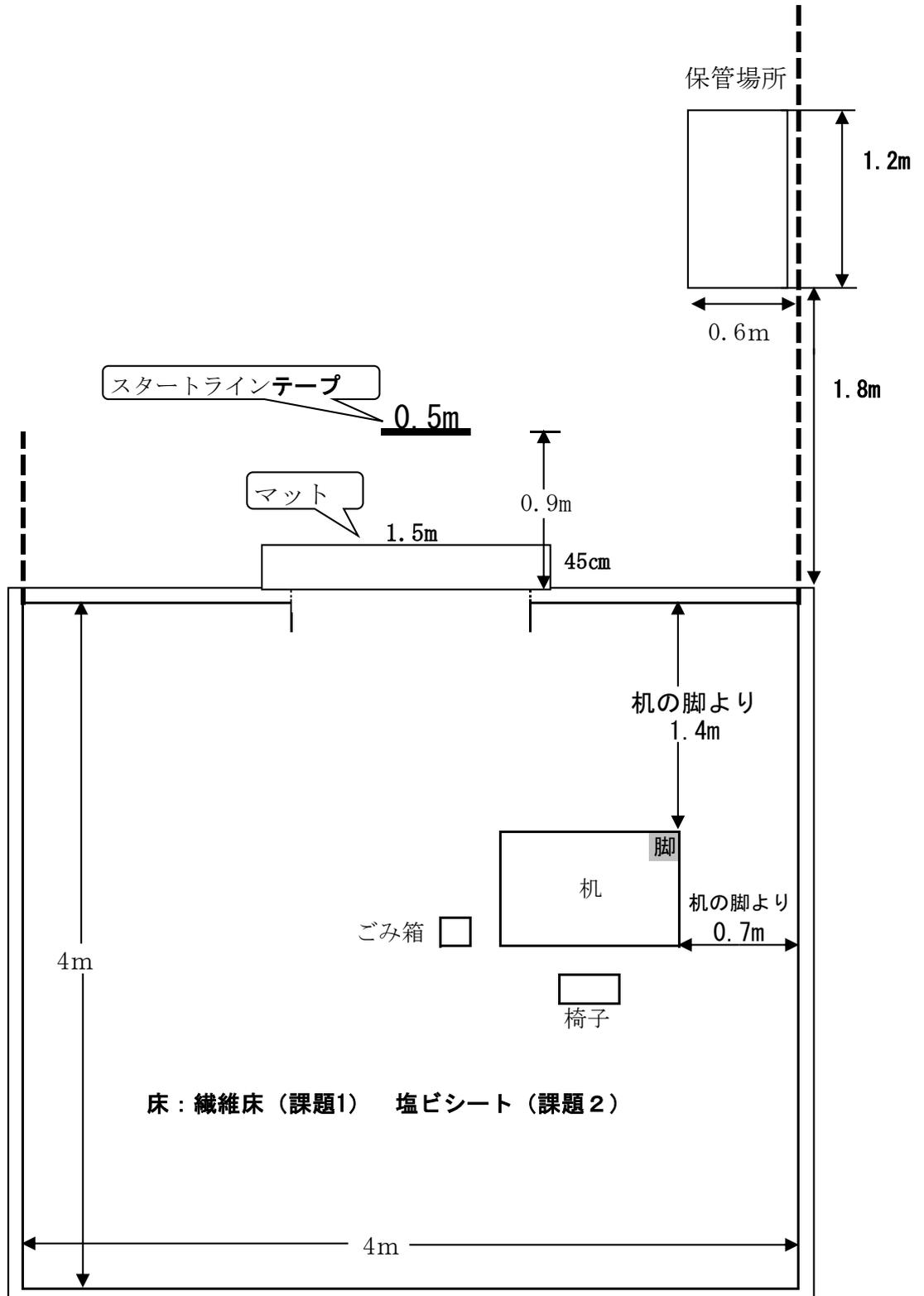
作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	<p>・作業に必要な資機材（タオル・モップ等）は、すでに作業カート（以下カート）上部に準備されている。</p> <p>①ワンタッチモップ柄（以下柄）の長さを調整し、カートの所定の場所にセットする。</p> <p>②ダスタークロスを装着した乾式モップヘッド（以下ヘッド）は、カート上部に置く。</p>	<p>・必要な資機材及び数量は、資機材一覧を参照すること。</p> <p>・資機材が過不足なく準備されているか点検し、異常があれば申し出る。</p>	<p>資機材の点検終了後、係員の指示に従い所定の位置に立つ。</p>
競技開始の挨拶	<p>所定の位置に立ち、競技委員の始めの合図で「はじめます」と挨拶を行い、競技を開始する。</p>	<p>かたてあげ、いちれいする。</p>	<p>作業開始を申告する。</p>
作業準備	<p>作業用カート（以下カート）を保管場所から作業場所の近くへ移動し、作業表示板を立てる。</p>		
入室の挨拶	<p>入りぐち、室内に向かつて入室の挨拶を行う。</p>	<p>「失礼します」といちれい、にゅうしつ一礼して入室する。</p>	
<p>イス上げとゴミ処理</p> <p>(1) イスを上げる</p> <p>(2) ゴミの回収</p> <p>(3) ゴミ袋のセット</p>	<p>①作業前にイスを机上に上げる。</p> <p>②ゴミ箱にセットされているビニール袋を回収する。</p> <p>③回収したビニール袋をカートの袋の中に入れる。</p> <p>④ビニール袋の替袋を取り出し、ゴミ箱にセットする。</p> <p>⑤ゴミ箱を机上に上げる。</p>	<p>・机は動かさない。</p> <p>・イスは机からはみ出さないように正しくのせる。</p> <p>・ビニール袋を正しくセットする。</p> <p>・ゴミ箱は机からはみ出さないように正しくのせる。</p>	

<p style="text-align: center;">じょじんさぎょう 除塵作業 (乾式モップ)</p>	<p>①ダスタークロスを装着した乾式モップヘッドは入口の養生マットの上でモップの柄に取り付ける。</p> <p>②乾式モップで、外から入口を除塵し、入室する。</p> <p>③室内での作業手順は、乾式モップ作業手順のとおり行う。</p> <p>③ゴミは前進しながら出口に向かって1箇所を集める。</p> <p>④ ヘッドを柄から外す。</p> <p>⑤使用済みのダスタークロスをヘッドから外し、カート<small>の袋</small>の中に収納する。</p> <p>⑥柄とヘッドをカートに戻す。</p> <p>⑦小型ぼうきと文化ちりとりを使用し、集めたゴミを回収する。</p> <p>⑧ゴミの取り残しがないか点検する。</p> <p>⑨小型ぼうき、文化ちりとりをカートに戻す。</p>	<p>・柄<small>の先端</small>には親指を添える。</p> <p>・ヘッドの辺は広い方を先行させる。</p> <p>・入口のゴミを踏まないように足場を確保する。</p> <p>・ヘッドは、床から離さない。</p> <p>・使用済みダスタークロスはカート<small>の袋</small>の中に入れる。</p> <p>・ごみの取り残しがある場合は、小型ぼうきと文化ちりとりを使用し回収する。</p> <p>・ヘッドは、カート上部<small>に</small>、スポンジ面を上にして、邪魔にならないように置く。</p>	<p>ごみは、おがくずを 50ml 程度均等にまいてある。</p> <p>点検の際に声を出さないこと。</p>
--	--	---	---

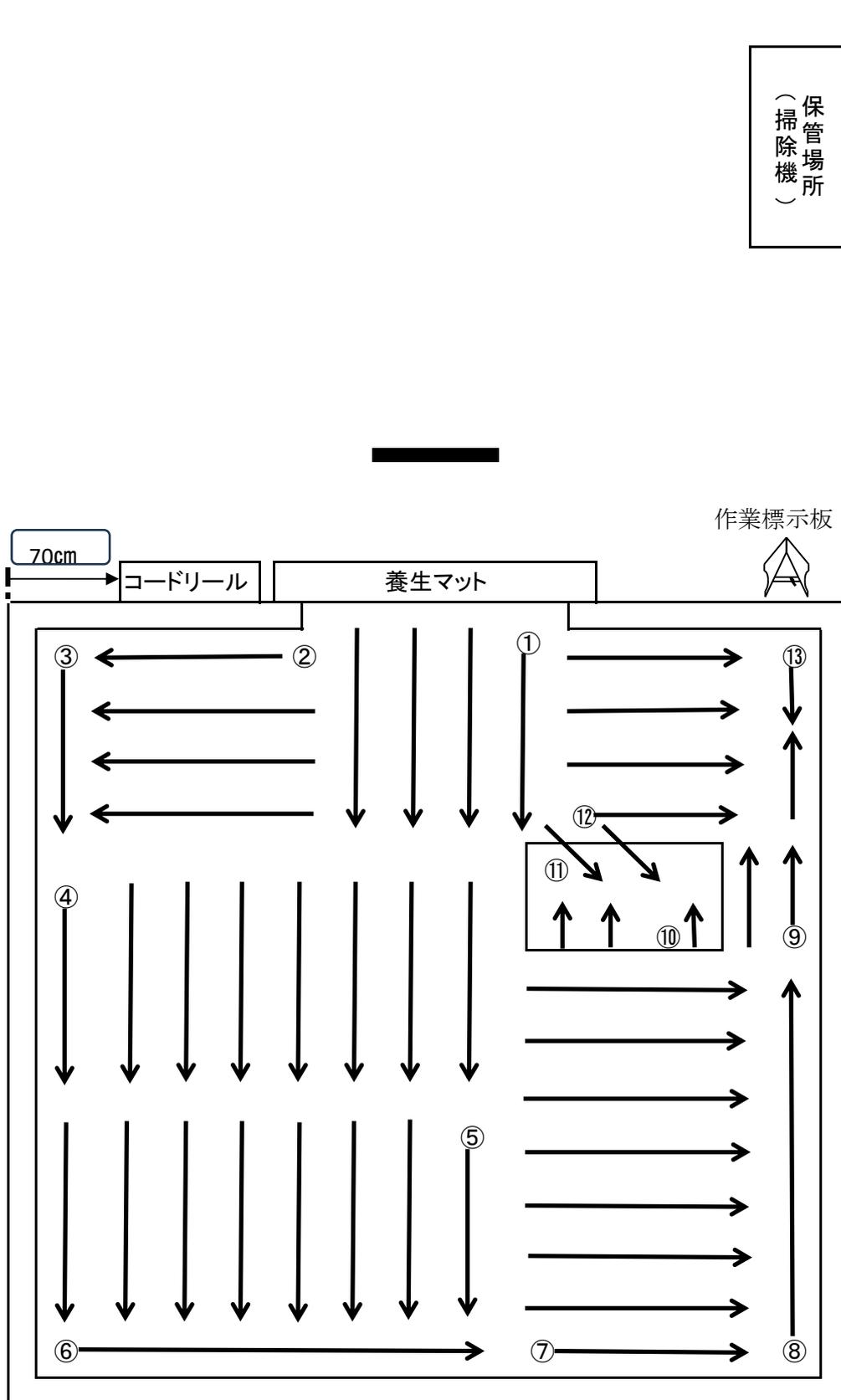
きぎょうしりょう
作業仕様 1-2

きぎょうこうてい 作業工程	きぎょうほうほう 作業方法	ほそくじこう 補足事項	びこう 備考
みずふきさぎょう 水拭き作業 (モップ)	<p>① コート全体面積を拭く。</p> <p>② 室内での作業手順は、水拭きモップ作業手順のとおり行う。</p> <p>③ コーナー周りとは机の足元は房糸に手を添えて拭く。</p> <p>④ モップは適宜裏返し、モップ全体を使って拭く。</p> <p>⑤ モップは横拭きとし、後退しながら拭く。</p>	<p>・拭き残し、拭きむらのないようにする。</p> <p>・柄の先端には親指を添える。</p> <p>・房糸が幅木、机の脚部に触れないようにする。</p> <p>・拭いたところを踏まないようにする。</p>	
ごみ箱とイス下ろし	あんぜん おと た 安全に音を立てないように下ろす。	あし うえ お ・足の上に落とさないように注意する。	
きじょうふき 机上拭き	<p>① 青色のタオルを八折にして持つ。</p> <p>② 机の上を青色のタオルで水拭きした後、白色のタオルでから拭きを行う。</p>	<p>・タオルが汚れたら、きれいな面を出して拭く。</p> <p>・机の縁を含めて、四隅から中央へと拭く。</p> <p>・横拭き・縦拭きを行う。</p>	
てんけん 点検	ゆびき また もくしてんけん 指差し又は目視点検を行う。	しきざい わす ・資機材の忘れ、ゴミの取り残しなどの点検を行う。	てんけん さい こえ 点検の際に声をださないこと。
たいしつ さいきつ 退室の挨拶	でぐち しつない む 出口にて、室内に向かって退室の挨拶を行う。	しつれい 「失礼しました」と一礼して退室する。	
しきざい かたづ 資機材の片付け	さぎょうひょうばん 作業表示板をカートに収納し、カートを保管場所に戻す。		
しゅうりょう さいきつ 終了の挨拶	しよてい いち た 所定の位置に立ち、終了の挨拶を行う。	お 「終わりました」等の意思表示を行う。	さぎょうしゅうりょう 作業終了を申告する。

標準配置図(モデル)

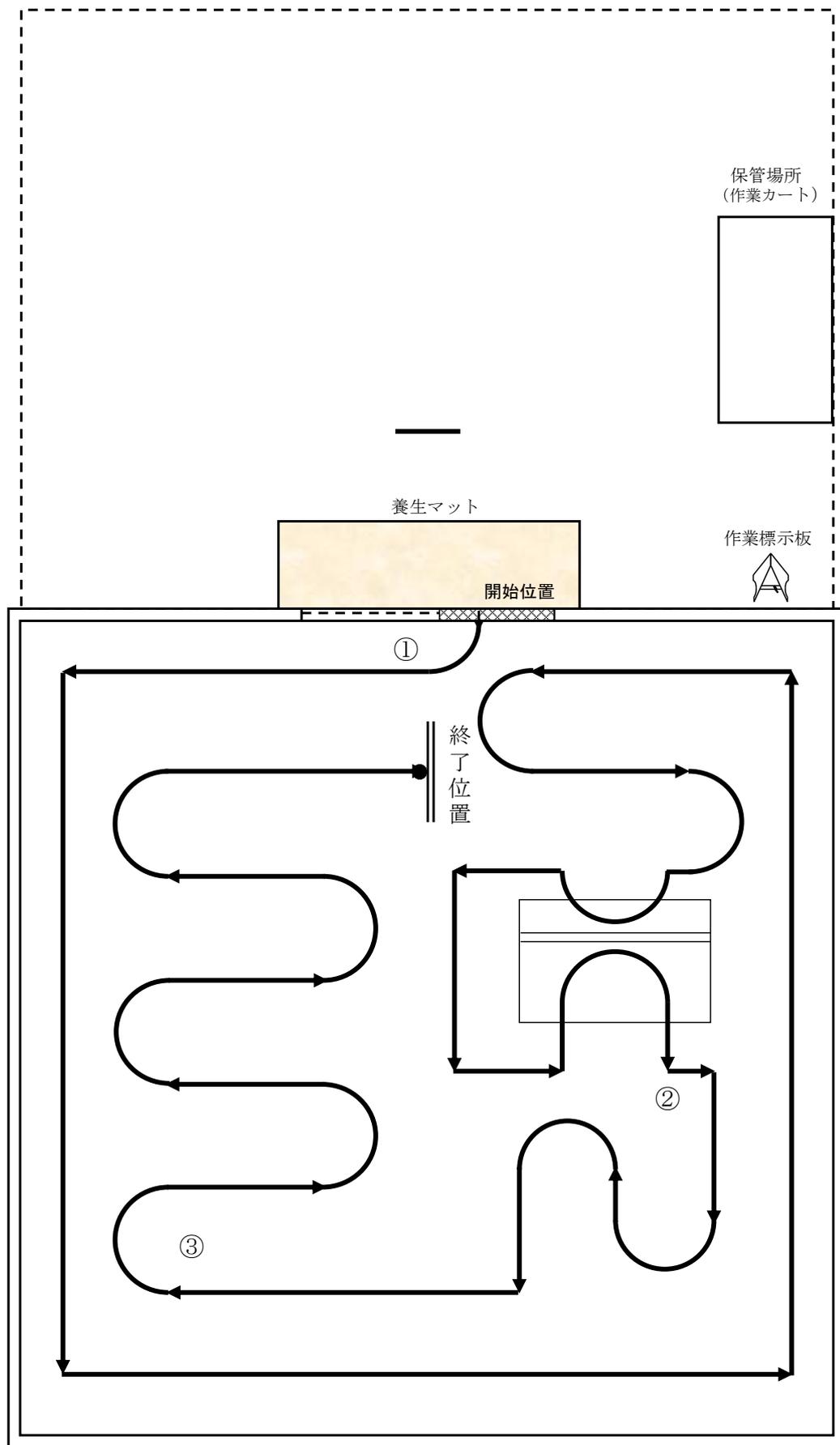


カーペット床作業手順



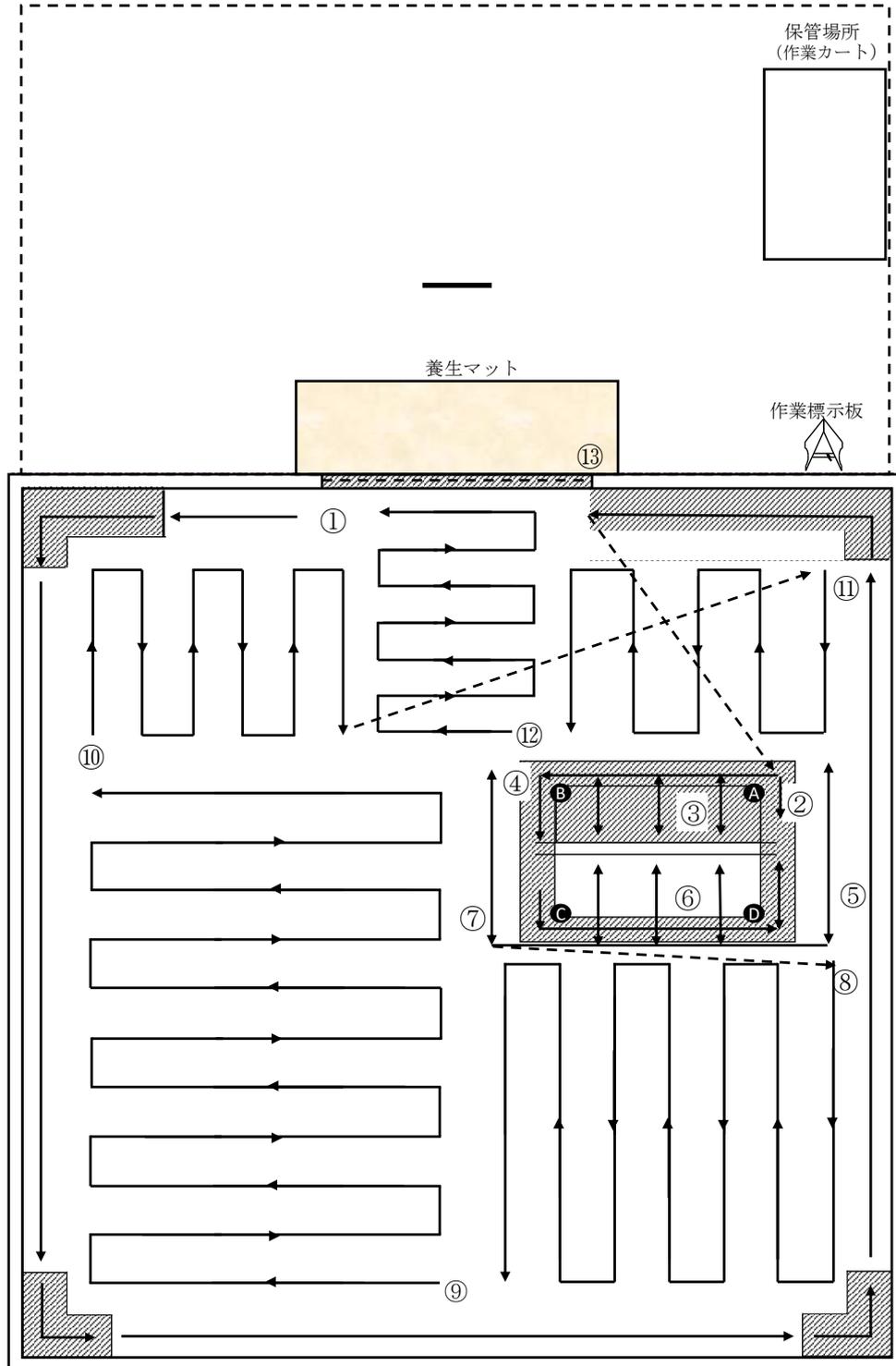
注: 作業の進行は①~⑬、吸引回数を入れたものではありません。

乾式モップ作業手順



注：乾式モップのヘッドの振る回数ではありません

水拭きモップ作業手順

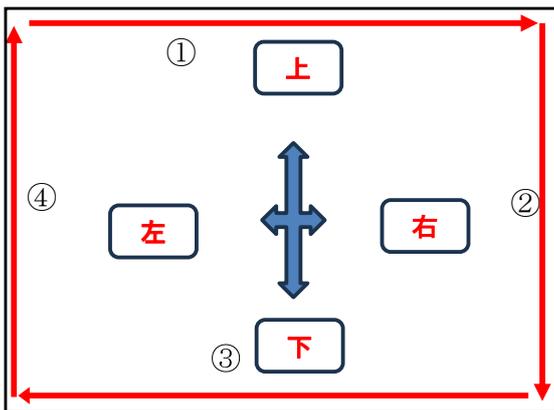


注：  印は手を添える箇所を示す。 水拭き回数を入れたものではありません。

- ① 幅木側を1周すること。(コーナーは手を添えます)
- ② Aの脚周りを手を添えて拭く
- ③ 机の下を手を添えて拭く
- ④ B脚、C脚、D脚の順に脚回りを手を添えて拭く
- ⑤ 机の脇(壁側)を拭く
- ⑥ 机の下を手を添えずに拭く
- ⑦ 机の脇(入口側)を拭く
- ⑧～⑫ 拭きムラがないよう適切な間隔で拭く
- ⑬ 入口は手を添えて拭く

机上拭き

その1. 縁(机の4辺)の作業動線



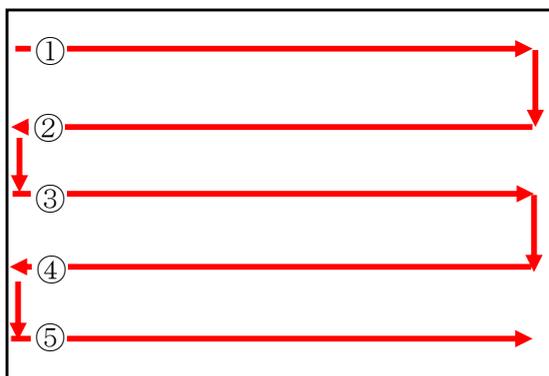
その2. 縁(机の4辺)の拭き方

※. 選手は審査員に正対し動線図に示された場所に立つ (縦拭き・横拭きも同様)

A. 机「上端」の縁を左端から①→②→③→④の順で机の「縁」を拭く。

※. 左手で拭く場合は、机「上端」右側からスタートしても構わない。

その2. 机中央の作業動線 (横拭き)

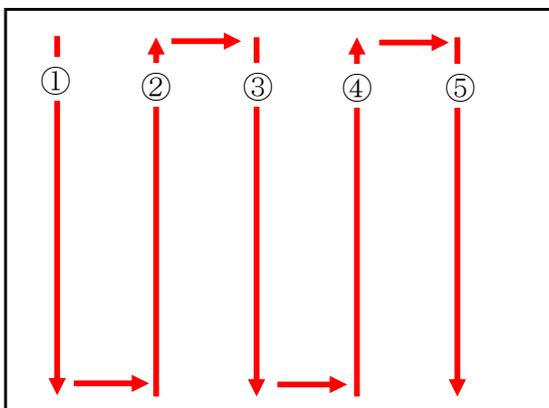


①～⑤の様に机「中央」を左側から拭き残しやムラの無いように拭く。(拭く回数は指定しない)

※. 左手で拭く場合は、机右側からスタートしても構わない。

※. 適宜タオルの面を変えながら拭く。

その3. 机中央の作業動線 (縦拭き)



作業者の立位置



①～⑤の様に机「中央」を上端から手前へ縦拭きによる拭き方で拭き残しやムラの無いように拭く。(拭く回数は指定しない)

※左手でタオルを持って作業する場合の動線は、右手による拭き方の「逆 (⑤～①)」になっても問題ない。